

令和2年8月17日  
国立大学法人長岡技術科学大学  
学 長 選 考 会 議

## 学長の業務執行の状況の検証結果について

国立大学法人長岡技術科学大学学長選考会議規則第4条第3項に規定する学長の業務執行の状況の検証を行いましたので、その結果を公表します。

### 1. 検証のプロセス

(1) 令和2年度第2回学長選考会議（令和2年7月17日開催）において、以下の資料、学長のプレゼンテーション及び学長選考会議委員との質疑応答により検証した。

- ・学長選考基準（平成27年1月27日付け学長選考会議決定）
- ・学長選考時における所信（平成30年8月20日学長選考会議公示、平成27年5月15日学長選考会議公示）
- ・業務の実績に関する報告書（令和2年6月国立大学法人評価委員会提出）
- ・監事の監査結果報告書（令和元事業年度監査報告書）
  
- ・令和元年度学長の業務執行状況の説明資料（プレゼンテーション資料）

なお、検証にあたり、監事から令和元年度の監査業務における意見を聴取した。

### 2. 検証結果について

令和元年度における学長の業務執行の状況については、適切に執行されていると判断する。

SDGs や技学を基本として、本学の特徴を明確にしながら、大学の教職員をまとめ上げて、グローバルな視点から、教育、研究、地域貢献などを着実に進めており、その結果、大学のステータスが着実に上昇していることは高く評価できる。

また、自己財源を作り、独自性と自立性を維持する取り組みを積極的に推進し、外部資金の増加が着実に実現している。

予期せぬコロナ禍の状況においても、リーダーシップを発揮し危機管理が優れていた。

今後は、大学の規模も考慮し、事業等のスクラップ&ビルドをも視野に入れながら、さらに戦略的に推進していただきたい。

以 上